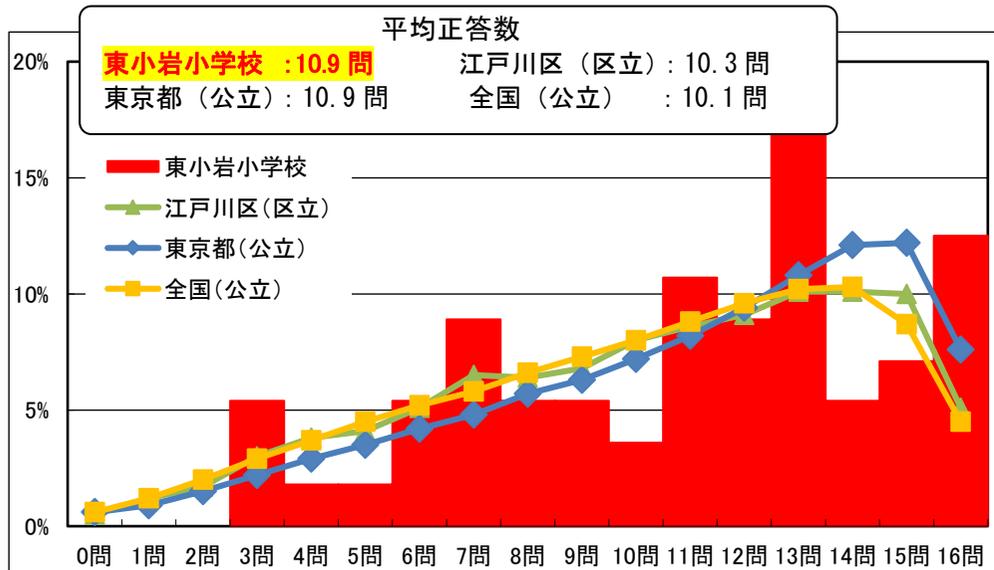


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 東小岩小学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

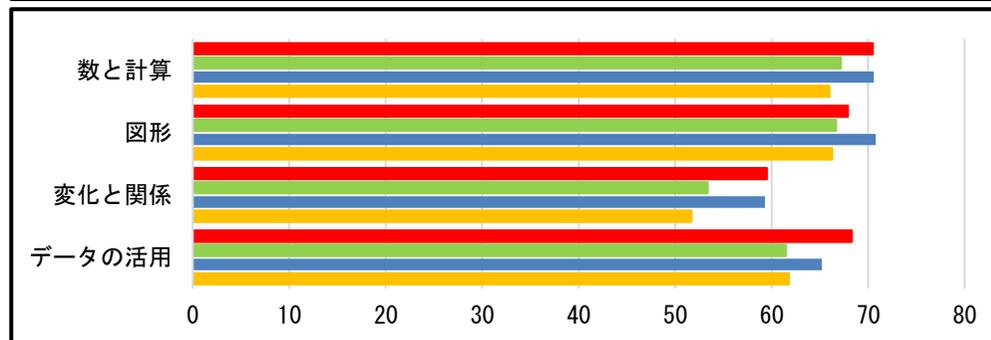
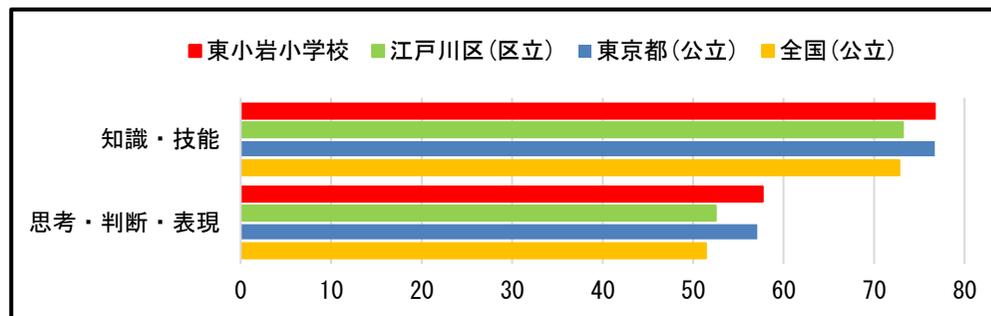
算 数	上位 ←		→ 下位	
	A層 14~16 問	B層 12~13 問	C層 8~11 問	D層 0~7 問
東小岩小学校	25.0	37.5	14.4	23.3
江戸川区 (区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都 (公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国 (公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

【平均正答率の差】

東小岩小学校	68%
江戸川区 (区立)	64%
東京都 (公立)	68%
全国 (公立)	63.4%
都との差	0ポイント

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【分析結果と授業改善に向けて】

- 平均正答率は、全国を4.6ポイント上回り、都とは同値であった。
- 全員が3問以上は正答することができていた。
- 「データの活用」の領域の設問では、都を3.1ポイント上回っていた。
- 「図形」の領域の設問では、都を2.9ポイント下回っていた。ICTを活用したり、具体物を使ったりするなど習熟度コース別に授業の流れを工夫して指導していく。
- 立式問題に課題がみられるので、数直線をかいて数の関係を捉えることを習慣化し、立式につなげる指導を繰り返し行うことで定着を図る。